◆大阪金屬勞働組合

第十二回年次大會

昭和七年九月四日午前十時から、九條青年會館に盛大なる大會を擧行した。梅田民衆氏開會の辭を述べ、全員起立總同盟歌を合唱し、組合長塚本重藏氏、議長席につき書記任命、各種委員會委員の任命ありて、議事に入る。

書記（▲長）▲米澤正賀外二名

一、副議長の選擧
高橋元一（栗本支部） 石丸吉次（朝日支部）

一、各種委員任命（▲は委員長）
（イ）資格審査委員 ▲佐々木玉吉外五名
（ロ）會計審査委員 ▲森本次郎平外四名
（ハ）豫算委員 ▲山口定次郎外四名
（ニ）議事委員 ▲菊川平吉外八名
（ホ）役員詮衡委員 ▲田中正夫外十三名
（ヘ）法規委員 ▲木全幸重郎外四名

一、祝辭
▲舊社民黨西淀川支部高尾繁太郎氏 ▲兵庫縣聯合會金子巽氏 ▲大阪聯合會堺出張所上田早一氏 ▲大阪借家人組合主事日秋喬一氏 ▲泉南地方協議會元阪順次氏 ▲日本港灣從業員組合新妻德爵氏 ▲日本海員組合片山國次氏 ▲大阪合同勞働組合村尾重雄氏 ▲關西紡織産業勞働組合山口正義氏 ▲大阪聯合會西尾末廣氏 ▲シンガーミシン減給反對闘爭委員會代表大島滿夫氏

一、祝電
▲日本勞働總同盟本部 ▲因島勞働組合 ▲中央合同勞働組合 ▲京都金屬勞働組合 ▲東京鐵工組合 ▲愛知縣聯合會 ▲社民病院 ▲泉南地方協議會

一、メッセージ
▲電線工組合 ▲九州聯合會

一、資格審査委員報告 佐々木委員長
出席代議員 二百三十九名
本部役員 十七名
計二百五十六名 報告通り承認

一、一般狀勢報告 本部主事 前田種男
質疑應答後滿場一致承認

議案審議

一、失業反對闘爭の件 本部案 山本拾三

闘爭題目
一、七時間制勞働即時實施して失業者を就職せしめろ
二、失業者の借金モラトリアムを實施しろ
三、國家並資本家金額負擔の失業保險制度を即時作れ
四、男女幼年工の勞働禁止要求
五、熟練勞働者特別保險要求
六、資本家本位の失業者製造産業合理化絶對反對

實行方法
一、社會大衆黨 總同盟本部 友誼團體と協力して目的貫徹に努力すること
二、日常失業反對闘爭のためより有效なる戰術と勇敢なく闘爭をなすこと
可決

緊急動議
（イ）九州麻生炭坑爭議團に對して激勵文を送る件
（ロ）シンガーミシン減給反對闘爭委員會並に井上酒造爭議團に對して應援激勵文を送る件
（ハ）共和製紙會社に抗議の件
以上緊急動議 滿場一致可決

爭議應援決議文起草委員
押谷平七 森本次郎平 斧田義信 田中龜太 梅田民衆
共和製紙抗議委員
山本拾二 池田質雄 前川善之助

二、共濟組合設置促進の件
朝日支部聯案 説明 石丸吉次

（理由）無産階級解放には勞働組合運動に依る闘爭方法と消費組合運動である勞働組合運動に於ては闘爭第一主義の下に勇敢に戰ひ拔いて來た。又將來に於ても闘爭より闘爭へと進まねばならぬ。然しこの闘爭の道に於て幾多の闘士とその家族とが彈壓の犧牲となるであらう。また病と窮乏とも闘はなければならないだらう。我等は出來得る限り、かゝる不詳事の場合の準備をして置かなければならぬこと言を待たぬ共場合相互扶助機關の活用は是非とも必要するものである。

共濟組合運動は極めて消極的かつ地味であるが解放運動の一翼として最も必要である。吾人はこの勞働組合の建設的事業である共濟組合の發展を期せねばならぬ。依つて本大會に於て決議し各支部に出來得る限り共濟組合の設立を切望するものなり。

實行方法
一、組合統制の下に別個の共濟組合を組織すること
二、新任本部理事會にて共濟組合促進準備委員會を設置し、充分討議して完全なる共濟組合の創立に努力せしめる事
滿場一致可決

緊急動議
日本商工援助會排撃の件
恩加島支部提案 説明 丸野榮吉
滿場一致可決

三、完全なる勞働組合法獲得闘爭の件
本部案 説明 梅田民衆

實行方法
一、總同盟本部 社會大衆黨と協力してその實現に努力すること
二、勞働組合法反對の資本家團體に對し猛烈なる闘爭を敢行しその反對運動をフンサイすること

四、雄辯大會開催の件
四支部聯合案 説明 堀内與作

（理由）無産階級解放運動には階級意識の解明即ち勞働者の立場を充分に認識すると共に指導精神を把握せしめなければならぬ。然して有能なる戰闘的闘士養成の必要は今更喋々と述べるまでもない。その實際的行動には雄辯が、大衆にアッピールする重要なる武器なりと信ずる。

然し、辯論の上達には幾多の努力と試練を必要とする。雄辯の達成は當然知識の向上となり、資本家階級をして戰慄せしめ得る武器である。

我等は日常闘爭に雄辯の必要を痛感し無産階級解放運動の途上に於ける有能なる闘士の選出養成をなさんとするものである。

實行方法
一、一年一回組合本部主催にて雄辯大會を開催すること
（優秀なるものに對しては賞品を授與すること）
一、本年度は十月中に開催すること

五、反動ファッショ粉碎の件
本部案 説明 塚本重藏

（理由）資本主義經濟組織の危機と日支事變を契機として擡頭した反動ファッショ運動の波は無産運動戰線を混亂せしめ沒落資本主義を維持せんと畫策しつゝある。

彼等は口を極めて國本社會主義、搾取なき社會建設とほざいて全無産大衆に媚びへつらつてゐるけれども彼等本

實は斷じてそうではない。その行動選動に於ては完全にブルジョアジーの手先以外の何ものでもない。我等はかゝる反動ファッショを蹴飛ばして強力なる組織を以つて彼等を徹底的フンサイの闘爭を決行しなければならぬ。

實行方法
一、大阪聯合會大會に本議案提出
二、集會 茶話會等に於て階級的批判に依つて本質を曝露し、日常闘爭を通じて徹底的に粉碎運動を捲起すること
可決

六、齋藤老耄内閣打倒の件
四南支部提案 説明 押谷平七
可決

此の時、シンガーミシン爭議團應援決議文並に九州麻生炭坑爭議團激勵書文の原案が出來たので、委員長から發表があり、兩者とも滿場一致可決した。

シンガーミシン爭議團應援決議文

資本主義經濟組織は世界的行詰りを來せるに、その根幹を改むることなく各資本國家は姑息なる手段に依り其の生命の延長を企圖す。

然れども資本家は其の國家的制肘の權外にあつて貪婪の限りを盡して世界的經濟機構を破綻より破綻へと導きつゝある見よ。代表的ヤンキーの資本主義共同戰の飛躍。シンガーミシンの暴擧を！ 世界的一割減俸の暴策を！

金輸禁とインフレーションの下にある我が國にあつて、吾人をして減俸をあへて迫行爲さんとするに、我が敬愛するシンガーの同志諸君は敢然と蹶起して、之に抗爭を挑まれしことは、吾人勞働階級として階級立場より深厚の友情と絶對の援助を湧起せしむるものである。

依つて諸君の劃期的爭議をして一般俸給生活者に對して「闘はざるものに勝利なし」の實践により全國的なる階級闘爭戦列の擴大強化に進めしめて唯一の目的たる本爭議闘を勝利に導かんが爲めに全組合員にあらゆる援助をなさしむることを、本大會の名によつて決議す。

日本勞働總同盟
大阪金屬勞働組合第十二回大會

シンガミシン爭議團御中

九州麻生炭坑爭議團電文

資本の暴壓に屈せず、徹底的に闘ひ最後の勝利を期せ。

一、會計審査委員會報告 森本委員長
一、豫算委員會報告 山口委員長
一、法規委員會報告 木全委員長
承認
一、役員詮衡委員會報告 田中委員長
柏手裡に承認

新役員
【組合長】塚本重藏 〔主事〕前田種男
〔常務理事〕松井直一 〔會計〕長田孝三
〔爭議部長〕梅田民衆 〔組織部長〕高橋猛
〔宣傳部長〕山本拾二 〔政治部長〕松木菊一
〔事業部長〕三溝惣次郎 〔教育出版部長〕小林宏吉 〔法律部長〕田中茂 〔調査記錄部長〕米澤正賀 〔青年前衛部長〕田中正男 〔會計監査〕三溝惣次郎 白神次市郎 中村茂平 〔顧問〕西尾末廣 金正米吉

新役員を代表して組合長塚本重藏氏就任の挨拶を述べ、亟いで閉會の辭あり、萬歳三唱午後四時三十分盛會裡に大會を閉じた。

賃銀値下問題
値上となつて解決
淺野伸銅所紛議

淺野伸銅所では、先に、組合員のみの賃銀値上を貫徹し、その爲め新組合員が續々とふへて來たがその矢先、工場側は突然鍛錬部の請負單價値下を發表した。從業員は至急對策を協議し、この決議に基き、直に田口氏が出張交渉の結果、左の如き有利なる條件で問題は解決した。なほ、この結果は値下げが取消されたのみか、一割強の値上を承認したことになつたので、今更乍ら組合員は、自分達の團結の威力に驚歎し、組合の擴張に獅子奮迅の有樣である。

解決條件
一、請負制を廢し常備制とすること
二、常備制責任の働き高
（イ）八名（二十貫匁） 三十六個
（ロ）七名（同） 三十個
（ハ）六名（同） 二十六個
（ニ）五名（同） 二十二個
（ホ）四名（同） 十八個
三、叺增一個に付き六十錢支給

恩加島鐵工所
工場委員會の好成績
この不況時に改善成る

大阪市港區、恩加島町、恩加島鐵工所は從業員八十餘名を擁してゐるが、全員は我が金屬恩加島支部に所屬し、同工場とは昭和六年三月より事實上の團體交渉が認められ、工場委員會を組織し、その機關を有效に活用し、常に和氣靄々の裡に、問題は處理されて來た。從つて、同工場從業員は、昨今の不況に際して、如何にして自分等の工場を守り樹てるべきやについても眞劍な態度を持し、作業能率の增進を努めて來たので、小工場軒を並べて沒落しつゝある今日に於て、同工場は鍛錬專門工場として相當の成績を擧げてゐる。こんな狀態であるから、工場主側も大いに、この勞働者側の態度を德として居り、從業員側要求の勞働條件の改善も、今迄に隨分實現されてゐる。

去る八月八日にも從業員は定期昇給皆勤賞與等十一ケ條から成る待遇改善を十日の委員會を通じて工場主に提出したところ、十二日委員會に於て左の回答があつた。支部は、同夜直ちに臨時總會を開催、本部から小林、梅田兩氏も出席し討議の結果、工場主の誠意は充分認めることが出來るので滿場一致、同回答案を承認するに決定した。同工場全從業員は將來益々一層勞資關係の圓滿をはかり、進んで他工場の組合獲得に邁進せんとしてゐる。

提出案並に工場側回答

一、參化汽鑵の鋼塊伸しは定時迄二步の步增なるに、八時九時までやれば步合が下る故に定時に二步つくものなれば殘業の場合は三步以上を保證せられたし
回答 無條件承認

二、八、九兩月は請負給三分を保證せられたし（鍛工部）
回答 八、九兩月は鍛工部及びボイラー部勤務員に對しては常備工賃の一分五厘の步增を保證し、それ以上は制限せず

三、仕上部並びに工具部は請負給一分以上の步增となるよう單價を協定改正せられたし
回答 八、九兩月分工賃は最低步合を一人一分とす
但し步合の一分以上つくよう協定單價を改正することを承認す

四、皆勤及び精勤賞與を復活せられたし
回答 無條件承認